



西桂町



VOL.
98

議会だより



第44回 西桂保育所運動会

■ 29年度の決算	2～3
■ 小林町長からの行政報告	4～5
■ 各会計決算	6～9
■ 補正予算・条例等の委員会審議内容	10～11
■ 議員活動報告、事務調査	12～13
■ 一般質問（瀧口議員）	14
■ コミュニケーション広場（オカリーナース）...	15



渡部 保 議員

町民の目線で魅力ある生活満足度の高い まちづくりの施策を着実に推進

一般会計賛成討論

えに基づき、長期総合計画等に沿いつつ編成した、平成29年度当初予算の目的を概ね達成され、かつ健全な財政運営に努力されたものと評価いたします。

次に、各財政指標を見てみますと、地方公共団体の健全化に基づく実質公債費比率は0.4ポイント改善され、5.2%となっておりです。

一般会計の収入率については、予算現額に対して100.26%と昨年度より7.31ポイントのプラスであり、調定額に対して、98.98%と昨年度より0.09ポイントのプラスとなっておりです。

財政状況の厳しい中で、実質収支に関しては、一般会計で9897万2208円、特別会計においても8556万7833円の黒字決算となっております。これは、行政サービスは基本的にその水準を落とさないという西桂町の行政運営の基本的考

す、多くは厳しい環境の中で当初予算の目的に沿った支出であり、町民生活向上につながる予算執行であると考えます。また、町民の目線からの数々の施策が適正に執行されたものと評価いたします。特に、高速道路上では

全国の市町村で初めて実施した「中央道跨道橋撤去事業」の他、健康増進施設としてリノベーションした「すこやか交流館アーク改修事業」、環境保全と維持管理経費削減のため「LED灯への取替事業」、「鳥獣害防除事業」、「臨時福祉給付金給付事業」等、町民ニーズに対応した事業や各区要望事項への真摯な対応がなされるなど、多くの評価すべき施策があります。

町当局におかれましては、引き続き景気の動向を注視し、経費の削減と徹底した行財政改革を実施し、限られた財源を効率的に活用し、今後とも財政運営の健全化と住民福祉の増進に努力されることを期待いたします。町民の目線での魅力ある生活満足度の高いまちづくりの施策を着実にこれからも推進することを要望し、賛成討論といたします。



荒井義光 代表監査委員

職員が一体となり、 健全な行財政運営の取り組みを

監査委員報告

審査の結果、各会計の歳入歳出決算書及び、付属書は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、計数についても、関係諸帳簿等と符合し正確であると認められました。また、基金運用状況並びに事務処理についても適正であると認められまし

た。

実質収支比率は、6.44%で前年度より0.24ポイント下降しており、収支の実態把握に努め、適正な財政運営を行っていただきたいと思います。また、経常収支比率は、85.1%で前年度より1.8ポイント上昇しており、この要因は、職員の就退職による人件費や、児童福祉費にかかる賃金、各種システムの保守委託が増加したためであり、経常経費の抑制に留意していただきたいと思います。

厳しい財政状況の中、補助金や交付金の事業の取組みや有利な起債を選択するなど財源確保に注視しながら各種事業を展開して計画的に行っていることは大いに評価できます。

歳入において、少子高齢化問題や不安定な国際情勢に伴い景気は依然不透明であり、町税等においては、「税等の公平負担の原則」や「財源の確保」の観点から、町全体で収

入未済金の縮減に取り組んでいただきたいと思います。

歳出においては、平成29年度の投資的経費は一時的な増額だが、人件費、扶助費等の支出は経常的に増加しており、当町の財政状況は、依然厳しい状況にあると言えます。

今後も急激に進む人口減少や高齢化社会に対応するため、財政運営にあたっては、自主財源の創出を図り、さらに経費内容の見直しに努め、効率的・効果的な行財政運営を進め、たゆまぬ努力を傾注されるよう強く望みます。

業務においては、担当者的人事異動や突発的な休暇においても、事務が継続できるよう手引書の再確認や、マニュアル化を図るとともに、人材育成にも配慮の上、行政サービスの維持向上に努められ、内部統制を適切に構築していただくことを望みます。

魅力ある生活満足度の高い まちづくりを実施

(中央道跨道橋撤去・武道館改修事業など)

物件費

10万7589円
(4億6758万円)



一般事務経費、臨時職員賃金、業務委託費等

その他

8万8543円
(3億8481万円)

繰出金、維持補修費、
積立金、出資金・貸付金

人件費

8万5124円
(3億6995万円)



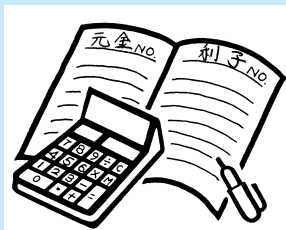
主に常勤の職員の給与
町長、議員及び
各種委員等の報酬

町民一人あたり
このように使われました
54万3063円

平成29年度
一般会計決算総額
23億6015万円

公債費

4万1390円
(1億7988万円)



毎年度、償還すべき町債
の元金、利息

投資的経費

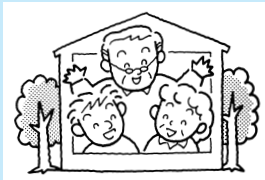
11万877円
(4億8187万円)

建物の建設、
道水路整備、
大型備品の
購入



扶助費

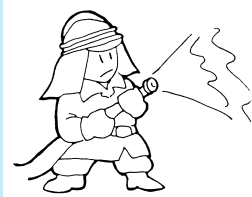
4万7110円
(2億474万円)



施設措置費、各種福祉手当
医療費手当等

補助費等

6万2430円
(2億7132万円)



他市町村との広域業務
負担、各種団体への
補助等

※()内は平成29年度決算額です。

※一人当たり額はH30年4月1日現在人口4,346人で割った額

■基金(貯金)一人あたり残高 40万4653円
〔17億5862万円・昨年度より7052万円増〕

■地方債(借金)一人あたり残高 69万9588円
〔30億4041万円・昨年度より6377万円減〕

※左記の額は一般会計及び特別会計の額です。

※地方債(借金)残高には、交付税算入基礎額として
後年度に国が負担してくれる額が含まれているため、
全てが借金とはなりません。



小林町長
行政報告

子どもの育ちを 支援する町宣言

安心して子どもを生み育てられるまち「西桂」をめざし、町民一人一人が子どもの育ちを支え、子育てを応援するまちづくりを推進し各種事業に取り組んでまいります。

「地方創生事業で実施している分譲事業」



分譲募集チラシ

本年7月1日より8月31日まで募集を行い、1名の申し込みがあり、現在、契約書の締結を進めております。

なお、倉見・柿園地区の2区画が売れ残っておりますが、町内外へのPRの方法や募集期間等を見直す中で再公募するための準備を進めております。また、募集期間中に町内者より分家の建設用地にしたいとの問合せがあ

「公共施設の相互利用」

り、このことも視野に入

り、このことも視野に入

「地域防災の推進」

去る9月1日には、東

去る9月1日には、東

「国際交流事業の推進」

や消防団と連携を図った

や消防団と連携を図った

「保健・医療の充実」

締結し、西桂町が意思疎

締結し、西桂町が意思疎

議いただく考えであります。

今年度当町の特定健診の受診率を向上させるため、未受診者宅を職員等が訪問することで、特定健診の受診率アップに積極的に取り組んでまいります。

また、人間ドック事業は、医療法人石和温泉病院「クアハウス石和」に加え、今年度は「山梨赤十字病院」と委託契約をし、現在勧奨に努めております。

「子育て支援の推進」

子どもの健やかな成長と保護者の子育てを支援するため、平成27年度から31年度の5カ年を第1期とした「西桂町子ども・子育て支援事業計画」に基づき、各種施策・事業を実施しており、7月には「子育て応援」な「アプリ」の運用を開始したところであります。

「子どもの育ちを支援する町宣言」につきましては、10月21日に開催される「福祉ボランティア

まつり」において行い、町をあげて「子育て」をサポートする体制づくりを進めてまいります。

「高齢者福祉の充実」

「認知症初期集中支援チーム設置事業」は、訪問支援者及びその家族に対する初期支援を包括的かつ集中的に行い、自立支援のサポートを行なうことを目的に実施し、支援を行なっております。

「在宅医療・介護連携推進事業」は、在宅医療と介護を一体的に提供するため、医療機関と介護事業所等の連携を推進することを目的とし、西桂町在宅医療・介護連携推進会議の開催、地域の医療・介護の資源マップの作成、住民向けの講演会の開催等を予定しております。

「地域福祉の充実」

平成29年度に策定した福祉計画を基に西桂町社会福祉協議会では、地域福祉活動計画の策定を現

在進めているところであり

ます。地域福祉活動計画は、地域住民及び福祉・保健等の関係団体が地域福祉推進のための役割を明確化した、いわば福祉活動のバイブルであります。今後多くの町民の方々のご意見等をいただく中で計画づくりを進めてまいります。

「農林業の振興」

有害鳥獣害対策につきましては、下暮地区住民からの要望を受け、猟友会と下暮地区及び地権者の協力を得る中、新規事業として下暮地大竹地内にサル用大型捕獲檻の設置を8月に実施いたしました。今回の大型捕獲檻の設置によりサル被害の緩和につながることが期待されます。

「観光の振興」

「三ツ峠ふるさと夏まつり2018」は、本年度は自衛隊山梨地方協力本部による自衛隊車両の展

示を行うなど、会場には過去最高の6142人の来場をいただきました。

今後夏祭りを通じてふるさと西桂の情報発信を図り、町民の連帯感と今後の町づくり推進機運が醸成されるよう取り組んでまいりたいと考えております。

「道路交通網・公共交通体系の確立」

富士吉田西桂スマートインターチェンジ整備事業は、本年8月6日に河口湖方面が開通し、当町の交通の利便性を向上させ、地域産業の活性化を図るとともに、富士山噴火等、大規模災害発生時の高速道路と一般道路との結節機能の向上、広域ネットワークによる観光振興の強化等の効果が期待されております。

上暮地第二工区の県道拡幅改良工事が1日も早く完成し、国道139号の渋滞緩和や地域の発展に寄与することを期待しておりますので、関係機

関に対し引き続き強く要望してまいります。

「生涯学習の推進」

リニューアルいたしました「西桂町すこやか交流館アーク」は、平成30年4月より利用を開始し7月末までの利用人数は、昨年7月の武道館の利用

実績と比較しますと約4.1倍の利用者増となりました。子供から大人まで誰もが楽しめる施設として今後も利用者の増加が図られますよう、指定管理者、行政及び関係団体が連携して取り組んでまいります。



三ツ峠ふるさと夏まつり2018

平成29年度一般会計決算

9月定例会

平成30年西桂町議会
9月定例会は、9月7日
から21日までの15日間
の会期で開かれ、条例
案・承認案・各会計の補
正予算案、決算認定など
14件の事件について、慎
重な審議を行いました。
主な審議は内容を要約し
てお伝えいたします。

一般会計決算

●主な委員質疑、歳入

問 町税の収納未済額は減額傾向にあるが、税務住民課の徴収に対する姿勢は。

税務住民課長 収入未済額については毎年減つてきていますが、29年度末でなお1750万円強の大金が未済額として残っています。滞納上位の方から滞納繰越については臨戸訪問をして納税者から徴収・分納をしていただいております。近年は山梨県滞納整理推進機構との連携及び徴収担当のエキスパート化などにより収入未済額の縮小が顕

著となっており、収納率も県下の平成31年度目標である96%を2年前倒しでほぼクリアしたところ

です。今後も引き続き課内一同努力してまいりたいと考えています。

問 ふるさと応援寄附金について、前年度と比較した内容説明をお願いしたい。

総務課長 平成28年度が147万円だったのに対し、平成29年度は112万円と35万円減額、寄附件数も2件の減となりました。平成30年度は、29年度に比べて増えてきている状況であり、各種体験

や新しいものを返礼品として工夫していきたいと考えています。

●主な委員質疑、歳入

問 緊急通報システムの詳細を。

福祉保健課長 一人暮らし高齢者を対象として警備会社に委託しており、システムを押せば安心サポートセンターへ通報ができるものです。また、その他にふれあいペンダントシステムもあり、8名が利用しています。

問 ごみ減量化推進事業の具体的な策と、ごみ量の推移を教えてください。

産業振興課長 ごみの減量に向けて分別収集の徹底と生ごみ処理機への助成をしています。ごみ量の推移については、28年度が1480tだったのに対し、29年度では1430tに減りました。

問 分別収集の徹底と言われたが、その具体的な策は。

産業振興課長 従来は各

組に依頼して資源化物の収集を行っていましたが、コンテナの設置により町の事業として簡素化しました。各ステーションに資源化物を出すことにより、収集機会の増と各家庭からの搬出距離の縮減をしたところです。30年度からは資源化物について、広報誌やホームページだけでなくさらに周知



コンポスト（ごみ処理容器）

をしたいと考えています。また、生ごみ処理機の助成についても工夫をして



焼却場（環境美化センター）

歳入総額 24億7462万円
歳出総額 23億6015万円
差引き額 1 億1447万円



さる用檻（下暮地地内）

いきたいと思っております。

意見 各組から町に移行したら事業がマイナスになったと感じているので、より良い方策を検討していただきたい。

町長 県内ごみ処理場の再配置が検討されています。今すぐにでもできる

ことから時間を置かずに取り組んでいきたいと思っております。

問 環境対策経費の中に積立金があるが、この500万円の説明を。

産業振興課長 栗井財団から、平成29年度に寄付を受け、平成30年度の千本桜事業、開運の鐘、桂川

清掃、三ツ峠登山道清掃などの事業に充てていきたいと考えております。

問 有害鳥獣の補助金交付の対象件数は2件だけか。

産業振興課長 住民が柵を設置するための材料費の町単独助成費で、2件に補助しました。

問 動物の種類別の駆除費を教えてください。

産業振興課長 サル一頭3万円、イノシシ一頭1万5千円、鹿も同じ1万5千円で猟友会に駆除を依頼しており、県の基準に基づき支払いをしているものです。

問 駆除委託料は処理費込みか。

産業振興課長 そのとおりです。

問 青年就農給付金受給者の現状はどうなっているのか。

産業振興課長 対象者は1夫婦で、本年9月をもって給付が終了します。10月を目途に営農相談を実施します。露地野菜を栽培し道の駅などで販売

するそうです。今後の新規就農者はいない状況です。

問 シルバー人材センターへの町民の加入者は22名、委託は6件となっているが、今後の見通しはどうか。

産業振興課長 人が固定化し、新規加入者が入りにくい状況となっています。庭や農地の草刈り等で住民が新規に入っている環境を作つていきたいと考えております。

町長 今はスーパードライやホームセンターへの人材派遣業務が増えています。未来館の守衛もシルバーから派遣されています。

問 千本桜の里事業という構想があるようだが。

町長 三ツ峠登山道のみではなく、町全体を「千本桜の里」にしていきたいと思っております。

問 桜の管理について、民間ボランティアの活用を考えてみてはいかがか。

町長 県内の桜守の方に相談します。

問 地区防災力強化補助

金の内容を。

総務課長 防災資機材購入補助と自主防災組織運営費補助の2本立てです。町は実績報告書で確認をしています。

問 この補助金は自由度が高い補助金かどうかと理解している。町では各區で整備している備品のリストを把握しているのか。5地区のバランスを見ての指導をしているか。

意見 全地区均等な備品になるよう指導していただきたい。

問 就学援助費用が小中学校合計28名に支払われているが、基準を教えてください。

教育次長 児童扶養手当受給世帯や低所得の家庭に民生委員や教育委員の意見を拝聴する中で支出しています。

平成29年度 6 特別会計決算

国民健康保険特別会計決算

●主な委員質疑

問 国保の被保険者数は平成28年度の1075人から平成29年度は977人に減っているが、加入者数減少の分析と対策はしているのか。

税務住民課長 加入者数のみならず、全人口に占める割合も25年度の約29%から29年度には22.5%と大きく減っています。29年度中に個人事業



アクティブクラス（いきいき健康福祉センター）

主の方に国保から社保への加入勧奨をしたことも国保加入者の減に繋がっているとは思っておりませんが、町人口の減少に伴い、国保加入者も年々減ってきているのが現状です。

町長 他市町村では国保会計の単年度収支赤字が予想される中、法定外繰入金を一般会計から繰り入れて急場をしのいできましたが、当町では法定外繰入をすることなく乗り切ってきました。今後は医療費の抑制に努めることが保険財政の安定化に繋がると考えております。

介護保険特別会計決算

●主な委員質疑

問 介護保険料の収入未済額の詳細説明を。

福祉保健課長 普通徴収において現年度分27万5600円、11名の滞納と、過年度分43万6950円、10名の滞納があります。

普通徴収の方は年金額が低いことから年金天引き（特徴）にならずに納付書等による納付となっております。生活困窮者もいることから滞納が発生しています。

意見 あまり無理をせずに滞納の徴収を図るよう。

問 財産に関する調査を見ると29年度中に2100万円基金に積み立てを行い、基金残高は6100万円となっている。安定した健全経営と思うが、担当課長の所見を伺いたい。

福祉保健課長 介護保険基金への積み立てについては、3年間の介護事業



元気はつらつ運動教室（いきいき健康福祉センター）

の中で積み立てを行ったもので、安定的な状況にあると思っております。

問 国・支払基金交付金・県のそれぞれの負担金の増により歳入が増えたとあるが、説明を。

福祉保健課長 要介護者数と要介護者出現率が年々増えており、それに伴って保険給付費が増えました。

平成29年度6会計決算額

賛成全員

会 計 名	歳 入 総 額	歳 出 総 額	差 引 額
国民健康保険特別会計	5億6428万円	5億1375万円	5053万円
後期高齢者医療特別会計	8201万円	8201万円	0 円
介護保険特別会計	3億5525万円	3億2804万円	2721万円
介護予防支援事業特別会計	80万円	66万円	14万円
簡易水道特別会計	6726万円	6147万円	579万円
下水道特別会計	1億8545万円	1億8355万円	190万円
合 計	12億5505万円	11億6948万円	8557万円

(1万円未満四捨五入)

簡易水道特別会計決算

●主な委員質疑

問 水道管のポリエチレン管や硬質ポリ塩化ビニル管の耐用年数を教えてほしい。

建設水道課長 耐用年数は40年となっています。

問 医薬材料費は塩素の購入と思うが、塩素投入基準、塩素を入れる量を教えていただきたい。

建設水道課長 水道法により一ヶ月に一度、20リットル缶を6個補充しています。

問 水道水1㎡当たりの塩素量の基準はあるのか。

建設水道課長 残留塩素濃度は、0.1 mg/ℓです。

問 施設管理費の町単工事請負費、ウォーターポンプ交換工事は計画的な工事なのか、緊急工事なのか。

建設水道課長 保守点検の際に点検



ウォーターポンプ（新高区配水池）

業者が発見し、緊急的に工事を行いました。

問 簡易水道の普及率が99.1%ということだが、残りの0.9%は何か。

建設水道課長 井戸水を使用し、メーター器に接続していない人です。

下水道特別会計決算

●主な委員質疑

問 下水道運営状況の表において、供用開始区域と、うち接続済の単位が人数になっているが、接続率は人数ではなく世帯数で算出するのではないのか。

建設水道課長 世帯単位では1人の世帯も多勢の世帯もあることから、下水道を使用している人口

の割合で、「接続率」を算出しています。

問 上町地区だけの接続状況を教えていただきたい。

建設水道課長 上町地区の接続状況につきましては、平成30年8月末時点で供用開始人口が311人、接続済人口が202人で、接続率は65%となっています。



水道管切替工事（下暮地）

平成30年度一般会計補正予算(第2号)

●主な委員質疑

問 職員提案における「優秀な提案」の定義を教えてください。

総務課長 複数の審査項目を審査し、点数が高いものを優秀な提案として褒賞します。

問 褒賞人数は何名か。
職員提案制度はモチベ

ションを高めるためにも非常にいいことだ。褒賞規程はあるのか。

総務課長 補正予算が議決してから現行規程に基づき、募集予定です。

問 いじめ対策委員会委員の報酬を計上した理由は何か。

教育次長 年間2回、7



子ども・子育て支援会議（きずな未来館）

月と11月に開催したいと考えています。委員会で協議する内容については、学校の現状について話し合う予定です。

教育長 この委員会は通年開いており、いじめがあつたということでの開催ではありません。

問 子ども・子育て支援事業計画ニーズ調査の内容を教えてください。

子育て支援室長 現在子育てをしている保護者を対象にニーズ調査をするものであり、本調査は、第2期計画です。

問 子ども・子育て支援事業計画ニーズ調査委託については、業者の画一的な通り一遍の調査にならないようにしていただきたい。

教育長 専門的な知識を有する調査で分析が難しいために業者委託を行います。業者選定の際に十分注意をいたします。

問 きめ細かなニーズ対応のために、子育て支援室を新設したのではないかと。費用対効果としては

乏しいのではないかと。

教育長 ご理解をいただきたいと思っています。

問 小学校前庭のブロック塀撤去とフェンス設置が計上されているが、これで全て安全になるのか。

教育次長 延長36mのブロック塀をフェンスに替える工事です。合わせてニワトリ小屋の撤去と低木の伐採も実施いたします。

問 図書館のシャンデリアも危ないと聞いているが、どうなっているのか。

教育長 シャンデリア自体を撤去する予定ですが、修繕費で対応するため、補正計上はいたしません。

問 特別教室渡り廊下の地震対策工事とは。

教育次長 南館と特別教室との2階に廊下があり、地震の縦揺れに不安があるため、補強等の改修をするものです。

国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

●主な委員質疑

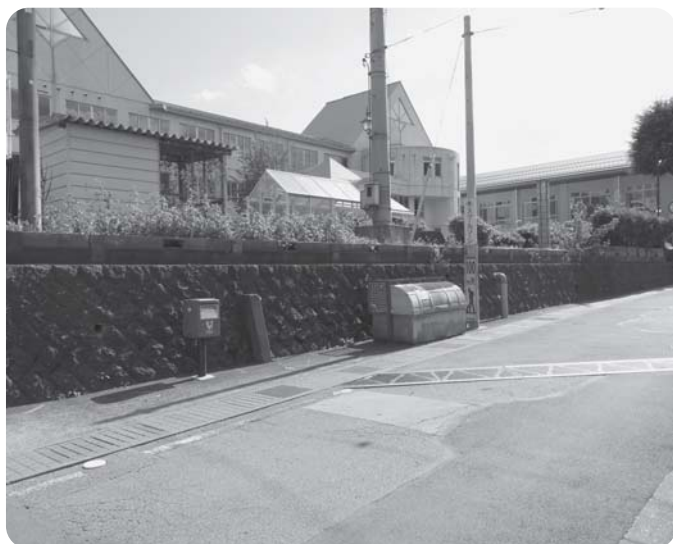
問 時間外手当45万円の追加について説明を。

税務住民課長 一般行政職2名分の時間外手当追加分です。国保制度の大幅な改正に伴い、国保連合会や県国保援護課などへの提出書類が飛躍的に増えたことに伴い、国保担当職員の通常業務が

量・質とも格段に増えて

いる状況です。職員に与えられた職務を的確・確実に遂行するための追加計上ですのでご理解をお願いいたします。

意見 時間外手当の追加について、税務住民課に限らず全課に言えることだが、業務と自己研鑽は別なので、過度な時間外勤務を強いることのないようにお願いしたい。



ブロック塀撤去（小学校前庭）

9月定例会・条例改正

賛成全員

条 例 名	主 要 内 容
西桂町税条例等の一部改正について	地方税法等の一部改正（平成30年3月31日公布）に伴う所要の改正
都留市との公共施設の相互利用の実施に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	都留市との公共施設の相互利用の実施に伴い、「西桂町三ツ峠グリーンセンター交流促進施設の設置及び管理に関する条例」「西桂町すこやか交流館アークの設置及び管理に関する条例」「西桂町三ツ峠ふれあいコートの設置及び管理に関する条例」「西桂町三ツ峠フットサル場の設置及び管理に関する条例」「西桂町民グラウンドの設置及び管理に関する条例」の一部改正
西桂町三ツ峠グリーンセンター交流促進施設他3施設に係る指定管理者の指定について	平成31年4月1日より、静岡ビル保善株式会社を指定管理者として指定し、管理運営の詳細について協定を締結するため、地方自治法第244条の2第6項の規定により議会の議決を経る。

平成30年度補正予算額

賛成全員

会 計	補 正 額	補正後の予算総額
平成30年度一般会計補正予算(第2号)	1361万円	22億1061万円
○歳入 平成29年度からの繰越金を充当 ○歳出 公文書管理経費・住民税賦課経費、出生奨励祝金支給経費・小学校施設管理経費		
平成30年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	207万円	3億8492万円
○歳入 県支出金、一般会計からの繰入金及び、平成29年度からの繰越金を充当 ○歳出 国保制度改正に伴う国保情報データベースシステム改修費、出産育児一時金の追加経費		
平成30年度簡易水道特別会計補正予算(第1号)	551万円	7112万円
○歳入 平成29年度からの繰越金を充当 ○歳出 水道施設整備経費		
平成30年度下水道特別会計補正予算(第1号)	△154万円	1億9811万円
○歳入 一般会計からの繰入金 ○歳出 人件費		

(1万円未満四捨五入)

議会に届いた請願書と処理状況

賛成全員

下記請願は採択と決し、平成30年9月21日付けにて、請願の趣旨に基づき関係機関に意見書を提出いたしました。

件 名	教職員定数改善、少人数学級推進、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書
請 願 者	南都留地区PTA協議会、南都留地区公立小中学校長会、南都留地区公立小中学校教頭会、山梨県教職員組合南都留支部
請願の要旨	教職員定数改善、少人数学級推進、及び義務教育費国庫負担制度拡充が図られるよう、国の諸関係機関に意見書を提出すること

7月21日実施

第2回議会報告会

議会報告会開催される

議員活動の状況を、直接、町民に報告・説明し、議会活動に対する提言などを聴取する機会として、平成30年7月21日（土曜日）きずな未来館において第二回議会報告会が開催されました。今回のテーマは次のとおりです。

【一般質問に至った経緯と行政の対応】

- ① 地方創生の総合戦略の検証について（瀧口議員）
- ② 未婚者と新婚世帯への支援（瀧口議員）
- ③ 小さなコミュニティ作りについて（武藤議員）
- ④ 桂川の洪水対策について（柏木議員）
- ⑤ 防火対策（防火水槽）について（柏木議員）
- ⑥ グリーンセンターの運営・管理について（山崎議員）

【議会報告会に参加した住民からの意見・要望、それに対する回答】

要望 柳溝の桂川水門から県道までの公道の下草刈りを行政にお願いすることができないか。

回答 関係部署に連絡・確認をとります。

要望 「防災訓練」は少しずつ工夫されて実施しているが、区役員や西桂町赤十字奉仕団、中学生などの関係役員だけが参加し一生懸命やっている。住民に危機感が全くない状況である。もっと実践的な訓練を行ってほしい。

回答 来年度への課題とさせていただきます。（町へ要望いたします。）

要望 議会としても自ら参加するような防災訓練となるよう町民へ意識改革を求めることが必要ではないか。

回答 議会としても要望に答えられるように努めます。今年は9月1日が防災訓練日であり本日の意見を防災担当に伝えて、これから対応できるものがあれば今後対応していきたい。

以上のような活発な意見交換があり、充実した説明会になりました。次回「議会報告会」にも、多数の皆様のご来場をお待ちしております。

9月11日実施

事務調査（総務常任委員会）

三ツ峠グリーンセンター施設及び周辺施設に関する管理運営について

来年4月より三ツ峠グリーンセンター施設の指定管理者が替わるのに伴い、ふれあい館の老朽化対策や周辺施設の利用方法など産業振興課長から協定内容を踏まえ、意見聴取を行いました。

●主な質疑等

問 旧特産品栽培所の築年数と建築構造は。取り壊すのか。

産業振興課長 築年数については把握していません。新耐震基準には対応した施設でないと認識しています。当面の間は倉庫として使用いたします。

問 「林野構造改善事業・体験実習交流園施設」とは。

産業振興課長 きのこ栽培等を行った施設であり、

現在は使用していません。今後の活用については協議いたします。

問 使っていないのなら、撤去する考えは。

産業振興課長 撤去は考えていません。

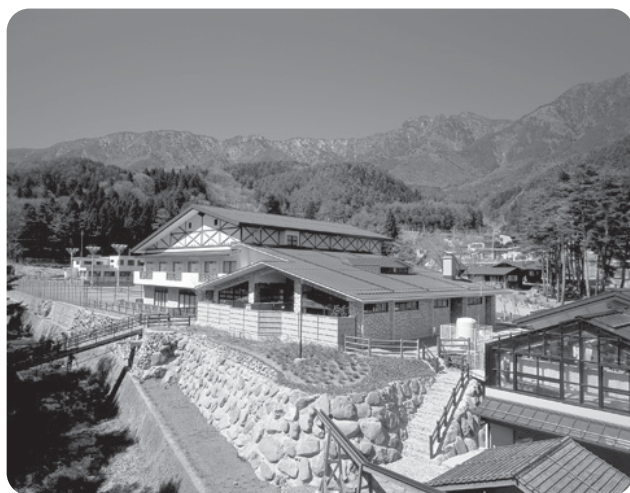
問 農村公園は、グリー

ンセンターの指定管理のエリアではないのか。

産業振興課長 建設水道課が管理しており、指定管理エリアではありません。

問 指定管理者となる静岡ビル保善（株）から説明を求めたいが。

産業振興課長 会社へ申し入れをし、協力依頼をいたします。



三ツ峠グリーンセンター周辺施設

議員活動報告

山梨県町村議会 広報編集委員行政視察

日本一の議会広報に学ぶ

行政視察のため、8月29日は埼玉県寄居町役場へ、30日には群馬県玉村町役場へ行ってきました。両議会広報編集委員の皆様と「議会広報誌」についての意見交換をしたり、広報誌づくりに対しての取り組みなどをお話していただきました。



群馬県玉村町議会だより・埼玉県寄居町議会だより

議会に関心を持っていただくために、広報誌でお知らせしたり、議会だよりには議会ホームページの「QRコード」を載せるなど、工夫をされているそうです。また、特に18歳から20歳までの方々に対しては、アンケート調査し、その結果報告を掲載するなどして、ツールで関心を持っていただく取り組みに力を入れているとお話いただきました。町民の読み手側に立って見出しと写真でわかりやすくしたり、町民参加の広報誌に心がけているとのことでした。

議員活動報告

山梨県町村議会 町村議会議員セミナー

町村議会のあり方について

10月9日 早川町にて、小規模町村をめぐる最近の動向と課題「住民自治の根幹をなす議会の作動」をテーマに山梨学院大学大学院研究科長、法学部教授 江藤俊昭氏からお話を伺いました。このセミナーは、人口一万人未満の町村議会を

対象に行なったもので、当町の他、鳴沢村、小菅村、道志村等の町村が参加しました。

今年3月に総務省から報告された「町村議会のあり方に関する報告書」の内容を交えご講義をしていただきました。また、参加町村からは、現在議会が抱えている課題についての発表があり、有意義な研修となりました。



議会議員セミナー（早川町役場）



一般質問

瀧口幸男 議員

問 早期復旧復興に直結する
受援力について

答 「災害受援計画」を策定、「空振り」
を恐れない「事前避難勧告」

瀧口議員

大規模災害には、いち早くボランティアや自治体派遣職員を受け入れ体制を整え、情報発信を適宜行った自治体には、人、物、金、情報が集まる現象が起きている。災害受援力についてどのように認識され、施策に活かしていくのか。

町長

受援計画の作成については、防災基本計画の中で、「地域防災計画等」に「受援計画」や「受援計画」をそれぞれ位置づけるよう努めること」となっており、BCP（業務継続計画）と受援計画は強い関係性があります。BCPによって災害発生時に優先的に取り組まなければならない業務を特定することができれば、いかに職員や支援物資などを配置すれば良いかを知ることができ、今後、BCP及び受援計画

等、受援力を高めるための基礎となる各種計画策定に努めてまいります。

瀧口議員

国は、南海トラフ巨大地震発生の可能性が高まっていると判断した場合、住民への呼び掛けで一斉避難する仕組みを導入するとのこと。このことを踏まえ、町長は「事前避難勧告」の避難指示基準を策定し早期に対応することはできないか。

町長

町では、避難勧告・避難指示の「空振り」を恐れず、現状の情報分析から災害を予想する中で、各地区の危険度に基づき、状況判断しながら積極的に早期の対応をしていきたいと考えております。

問 学校施設の改修・建替えと給食の献立に郷土料理の提供を

答 施設の長寿命化と、なるべく
早く冷房設備を設置

瀧口議員

給食センター等の老朽化に伴い改修・建替え計画等はあるのか。また、学校給食の献立に郷土料理を積極的に取り入れる考えはあるか。

教育長

学校施設はすべて耐震基準値を上回っております。公共施設の長寿命化計画を作成し、老朽化対策を計画的かつ効率的に行い、維持管理を図ってまいります。

学校給食では、子どもたちに郷土愛を育んでもらえるよう山梨県の郷土料理である「ほうとう」「おつけだんご」「大塚にんじん飯」など色々な郷土料理を提供しています。

瀧口議員

来年度までに給食センター調理場や小中学校の普通教室へ冷

房設備を設置する考えはあるか。また、給食の献立に町おこしに繋がるような郷土料理等を活かした取り組みを期待するが。



給食風景

教育長

調理場への冷房設備の設置については、健康管理や施設の衛生管理を考え、なるべく早く設置してまいります。また、小中学校の普通教室への設置については、来年度以降の町予算を勘案し、なるべく早い対応が出来るよう努力してまいります。

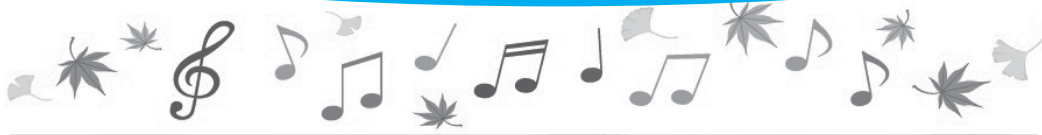


郷土料理ほうとう

郷土料理については、西桂町あるいは県内で採れた食材を利用した郷土料理を調査研究し、メニューに加えるよう取り組んでまいります。

コミュニケーション広場

皆さんの貴重なご意見・ご感想などを今後の議会活動に反映させていただきますので、積極的なご参加をお願いいたします。



地域で活躍する団体を訪ねて その74



オカリナーズの先生・舟久保せつ子さん(中央)と皆さん

訪問先

**富士燦々オカリナーズ
西桂フレンズ**

代表：小山 和子

取材日：9月8日
渡部議員、岩田議員

問 団体名は。

皆さん 『富士燦々オカリナーズ西桂フレンズ』です。

問 先生のお名前は。

皆さん 舟久保せつ子先生です。

問 参加者は。

皆さん 舟久保先生を含めて16名、和気あいあいと楽しくやっています。

問 活動内容は。

皆さん 西桂町で開催される各種イベントや介護施設などで発表しています。

問 活動日は。

皆さん 毎月第1・第3土曜日の午後7時30分から、ふれあいサロンで練習をしています。

問 今後の目標は。

皆さん 活動の幅を広げ、レベルアップを図りたいです。

問 町民の皆さんにお知らせしたいことは。

皆さん 町の文化祭でも発表しますので、オカリナの優しい音色を是非聴きにきてください。



素敵な音色に癒されます♪



朗らかで明るい先生

文化祭では
名曲『瀬戸の花嫁』や
『恋のバカンス』も
演奏します





保育所運動会を見学しました



年少 魔法使いになっちゃった!



開催日：9月29日
場 所：中学校体育館

園児外 宝さがし



年長 イロトリドリ



年中 U・S・A



年長 変身しちゃうよ!

小学生の稲作体験

議会の傍聴をお願いします。
次回定例会は12月上旬です。
詳細は12月3日頃、
ホームページにて公表します。

5月



5月24日 田植え

小学5年生が田植えをした『てんこもり』が
収穫時期を迎えました。

10月



10月3日 稲刈り

授業参観で
おにぎりにして
食べます。とても
楽しみです!



10月15日 脱穀

発行責任者
西桂町議会議員 小山 正則
編集委員長 渡部 保
副委員長 勝保 豊一
委員 武藤 隆義
委員 柏木 正
委員 岩田 裕展